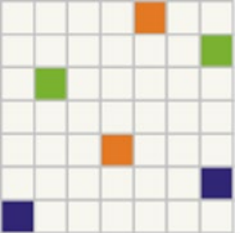
A vertical decorative element on the left side of the slide, consisting of a grid of small squares in various colors (blue, green, orange, purple) on a light gray background.

2022年12月期第2四半期 Web決算説明

2022年8月26日

株式会社C&Gシステムズ
東証スタンダード市場:6633



目次

1. 会社概要	… 3
2. 2022年12月期 第2四半期決算概要	…12
3. 中長期事業方針	…19
4. 2022年12月期 通期業績見通し	…28
5. 株主還元について	…32

1. 会社概要

会社概要

■ 会社概要

商号	株式会社C&Gシステムズ(6633)
主力事業	金型向けCAD/CAMシステムの 開発・販売・サポート
所在地	(東京本社) 東京都品川区東品川2-2-24 天王洲セントラルタワー19F (北九州本社) 福岡県北九州市 八幡西区引野1-5-15
設立年月日	2007年7月2日
資本金	5億円
直近連結業績 (2021年度実績)	売上高：37億44百万円 営業利益：2億76百万円
事業所	国内7拠点 (東京/北九州/大宮/名古屋/大阪/松本/仙台) 海外1拠点(インドネシア) 海外事業子会社3社 (タイ/カナダ/米国[金型製造]) 海外総代理店3社(韓国/中国/台湾)
連結社員数	240名(2022年6月末現在)

■ 国内外ネットワーク

【東アジア】
(各国代理店)

韓国: IGPNET社
中国: Shanghai C.J
System
Technology社
台湾: Createwell社

【アセアン】

タイ: CGS ASIA(子会社)
インドネシア
テクニカルセンター



CGS ASIA



インドネシアテクニカルセンター

国内

東京支店
松本営業所
大宮支店
東北オフィス
名古屋支店
大阪支店
九州支店
海外営業本部

【北米】

カナダ:
CGS CANADA
(子会社)

【金型製造事業】

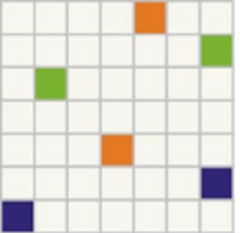
アメリカ:
Tritech
International, LLC



東京本社

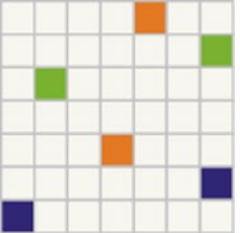


北九州本社



沿革

- 1978年 ○ 旧コンピュータエンジニアリング(CE)社の前身である株式会社西部周防設立
(1983年「コンピュータエンジニアリング株式会社」に商号変更)
- 1981年 ○ 旧グラフィックプロダクツ(GP)社設立
- 1997年 ○ GP社・株式店頭公開
- 2007年 ○ CE社およびGP社による共同持株会社
アルファホールディングス株式会社(α HD: 当社)設立
- 2010年 ○ CE社およびGP社を α HDに吸収合併、
同時に新商号を「株式会社C&Gシステムズ」として事業会社に移行
- 2017年 ○ 東証JASDAQ市場から東証二部に市場変更
- 2022年 ○ 東証二部から東証スタンダード市場に市場変更



社是、経営理念および成長戦略テーマ

□ 社是

「生産性の限界に挑戦する」

□ 経営理念

「技術立国日本を代表する
CAD/CAM ソリューションメーカーとして、
世界のモノづくりに貢献する。」

□ 成長戦略テーマ 「Global Niche Top」

「金型を中心に量産製造を支援するCAD/CAM」という
ニッチな市場において、
グローバルにトップ企業になることを目指す

主要製品および導入実績

■ 製品のポジショニングマップ



■ 累計導入実績および主要ユーザ…国内外合計7,000事業所

国内: 6,000事業所

トヨタ自動車 アイシン精機 豊田紡織 立松モールド デンソー ヤマハ発動機 三光合成 三菱重工
 マツダ 深江製作所 三井ハイテック タカギ エスバンス パナソニック オムロン シマノ がまかつ
 CHOFU 大阪造幣局 リョービ 昭和精機 岐阜精機 ミネベア 小糸製作所 スタンレー電気
 本田技研工業 アルプスアルパイン ニフコ TOTO ニコン キヤノン オリンパス パロマ ローム

海外: 1,000事業所

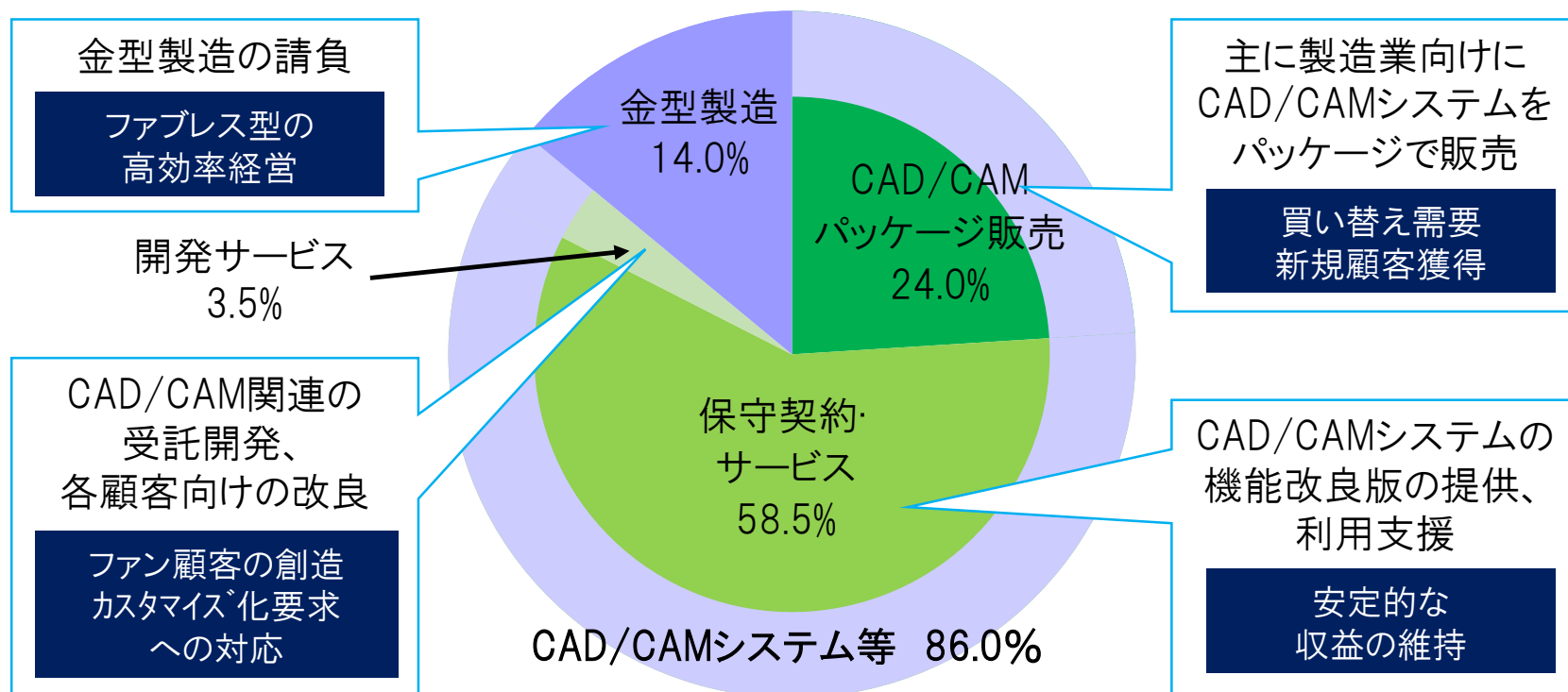
LG電子 サムソン電子
 現代自動車 DOOSAN機械
 FOXCONN teleflex Medical
 友達光電 AMTEK

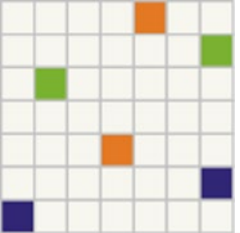
…その他多数

事業セグメント

主力事業：金型向けCAD/CAMシステムの開発・販売・サポート

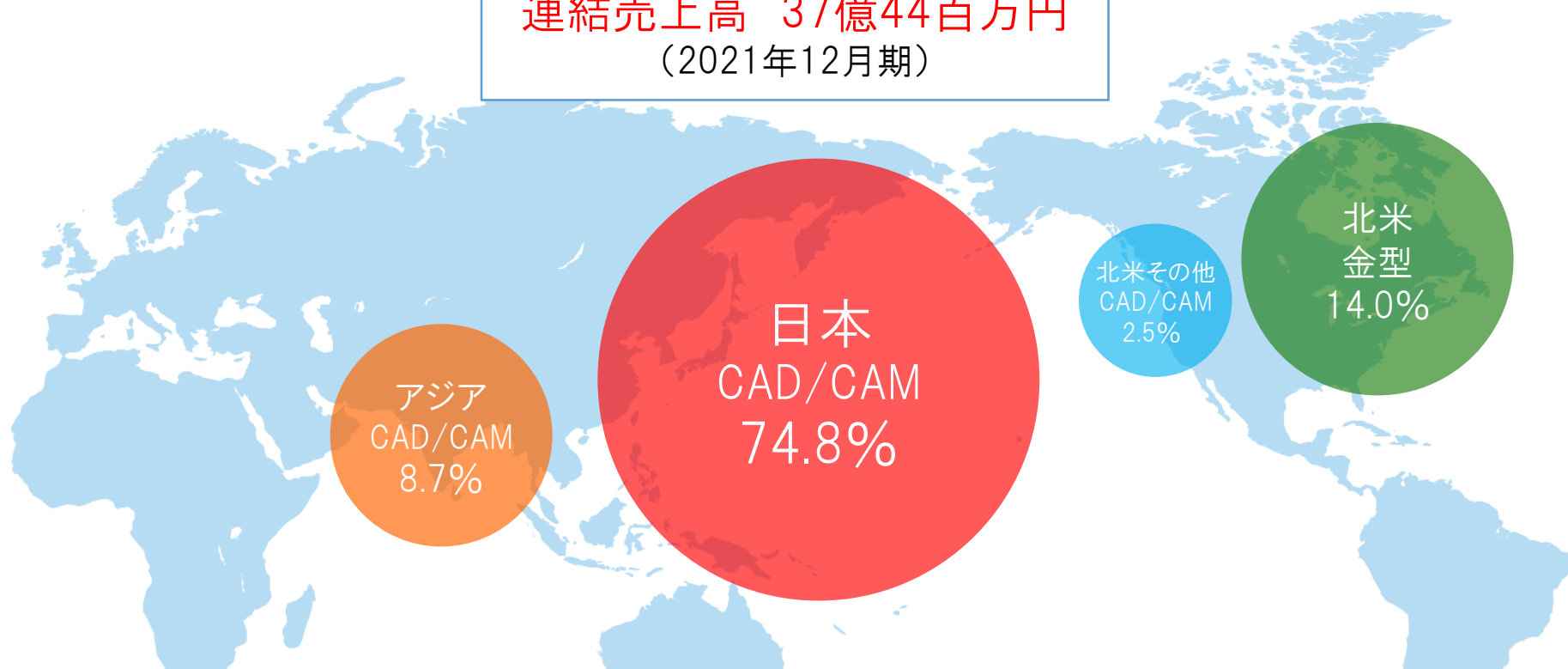
【2021年度連結売上高：37億44百万円】





地域別(仕向地別)売上高

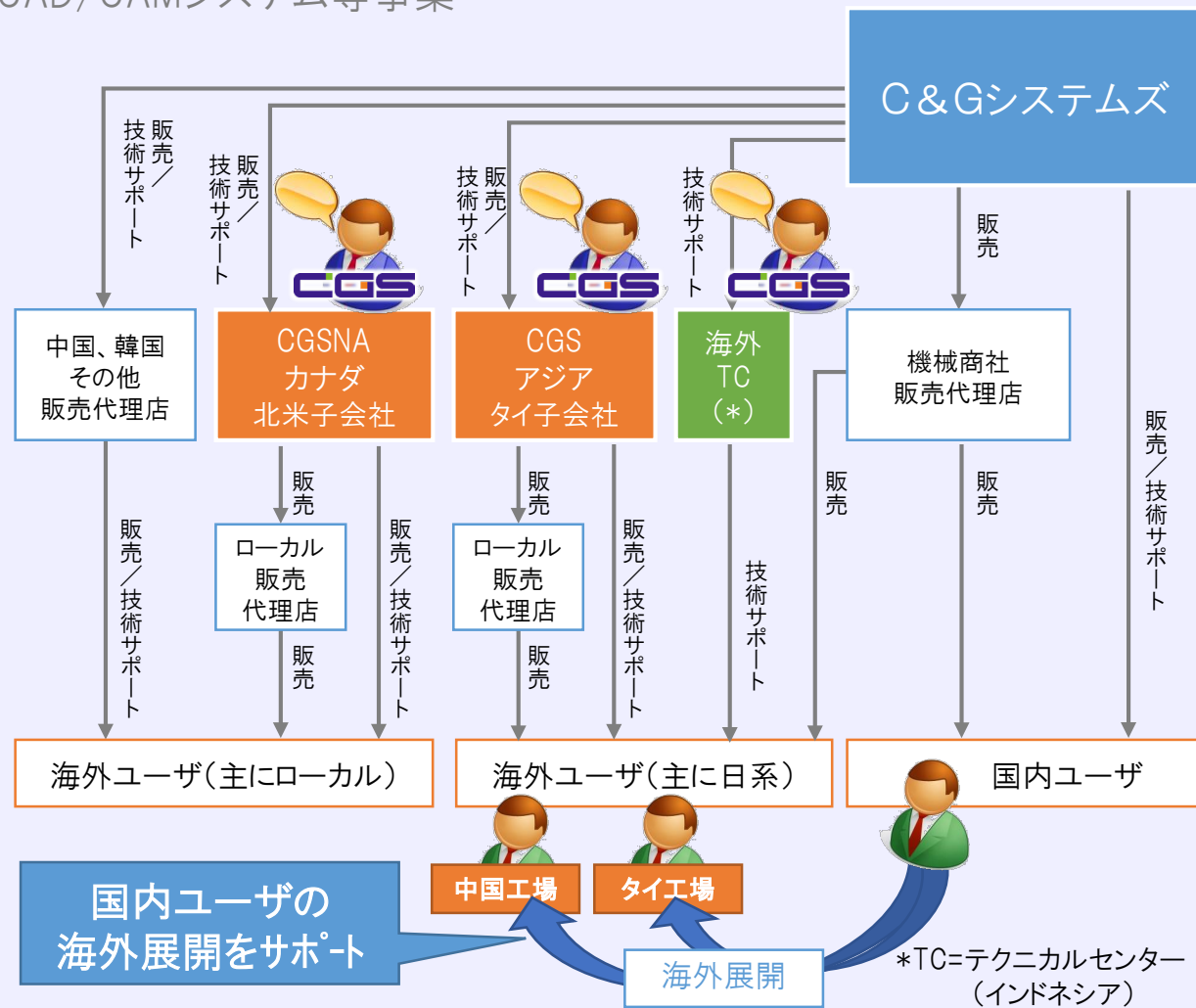
連結売上高 37億44百万円
(2021年12月期)



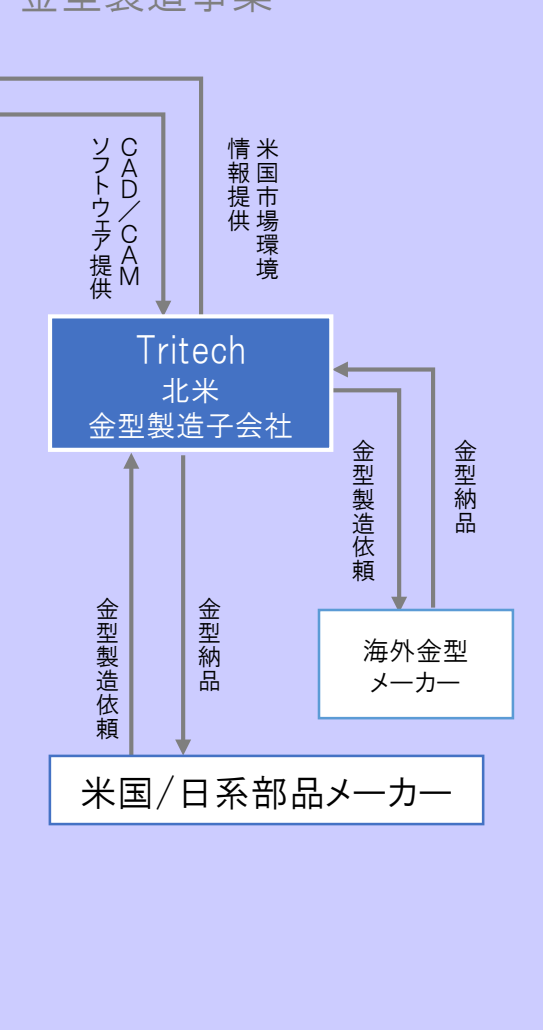
- 海外販売割合(仕向地別)は25.2%
- 海外については技術代理店、事業拠点の拡充による地域完結型事業モデルを推進

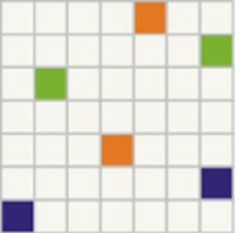
事業系統図

CAD/CAMシステム等事業

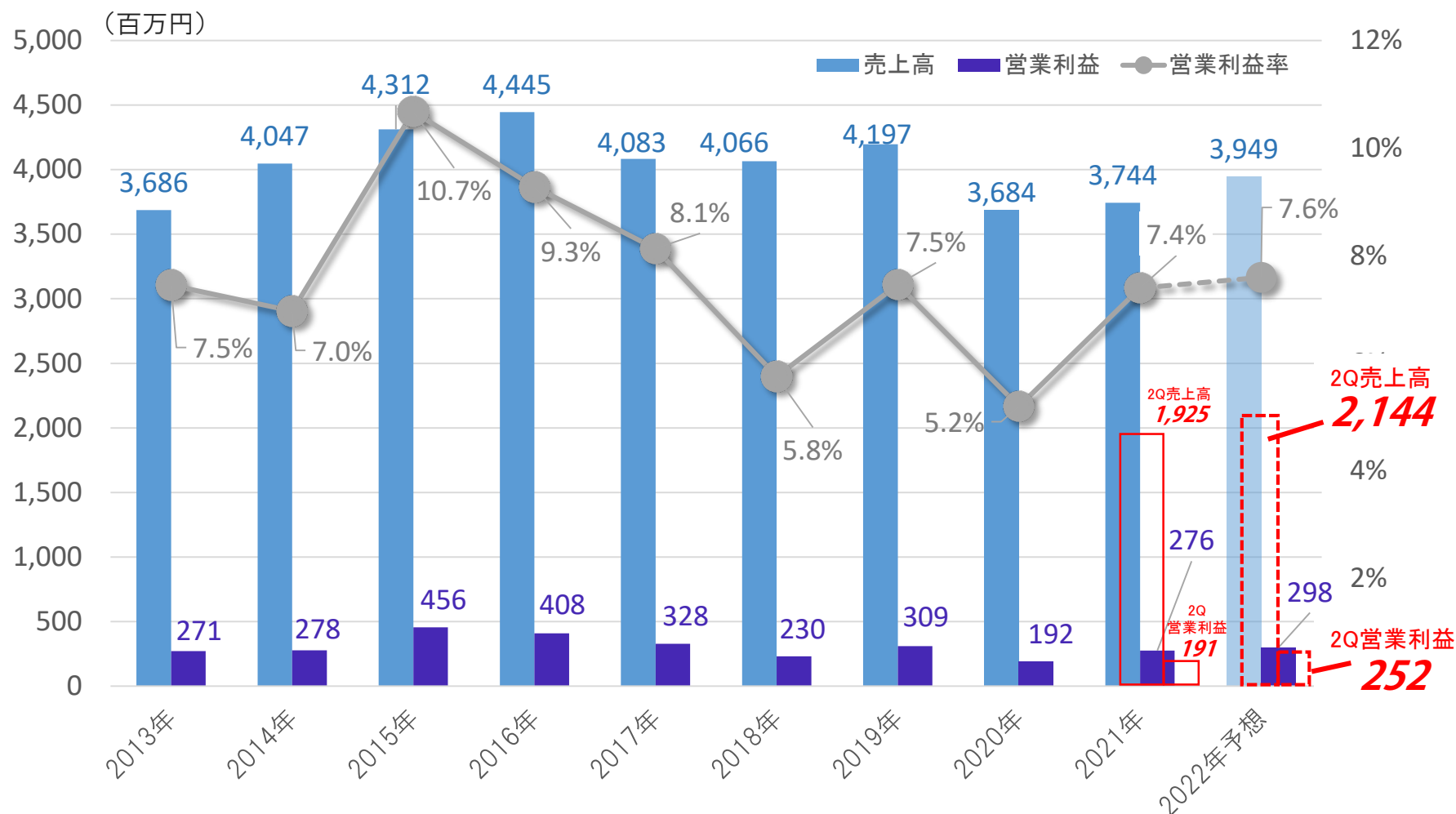


金型製造事業

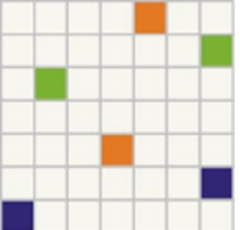




連結業績の推移



2. 2022年12月期第2四半期 決算概要



2022年第2四半期 決算ハイライト

CAD/CAMシステム等事業は総じて堅調を維持
金型製造事業が大幅増収増益で連結業績に貢献

売上高

21億44百万円

前年同期比 +11.4%

- 国内CAD/CAM:
 - ✓ コロナが若干の落ち着きを見せる中、イベント出展など営業活動は活発化
 - ✓ 上期販売は総じて堅調に推移、特に第1四半期、設備投資意欲の改善と共に製造業向け政府補助金関連の売上が伸長
- 海外CAD/CAM: コロナの影響を受けた中国、前期好調を維持していたベトナムで不振。タイ・インドネシアも回復が鈍化
- 金型製造: 2021年下期受注分の売上が4-6月に集中したことに加え円安効果もあって収益が大幅に拡大

営業利益

2億52百万円

前年同期比 +31.6%

- CAD/CAMシステム等事業: ソフトウェア販売が増加したことにより利益率改善
- 金型製造事業: 大幅な増収による利益確保

業績概要

(単位:百万円)

	2022年 上期実績	構成比	2022年 上期計画	計画比	
				増減額	増減率
売上高	2,144	100.0%	1,995	+149	+7.5%
営業利益	252	11.8%	191	+61	+31.8%
経常利益	281	13.1%	205	+76	+37.2%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	165	7.7%	138	+27	+19.8%

		2021年 第2四半期 実績	2022年 第2四半期 実績	2022年 期末想定
為替 レート	ドル	110.58円	136.68円	113.0円
	ユーロ	3.44円	3.85円	3.4円
	カナダドル	89.15円	106.00円	90.0円

2021年 上期実績	前年同期比	
	増減額	増減率
1,925	+219	+11.4%
191	+60	+31.6%
243	+38	+15.7%
160	+5	+3.3%

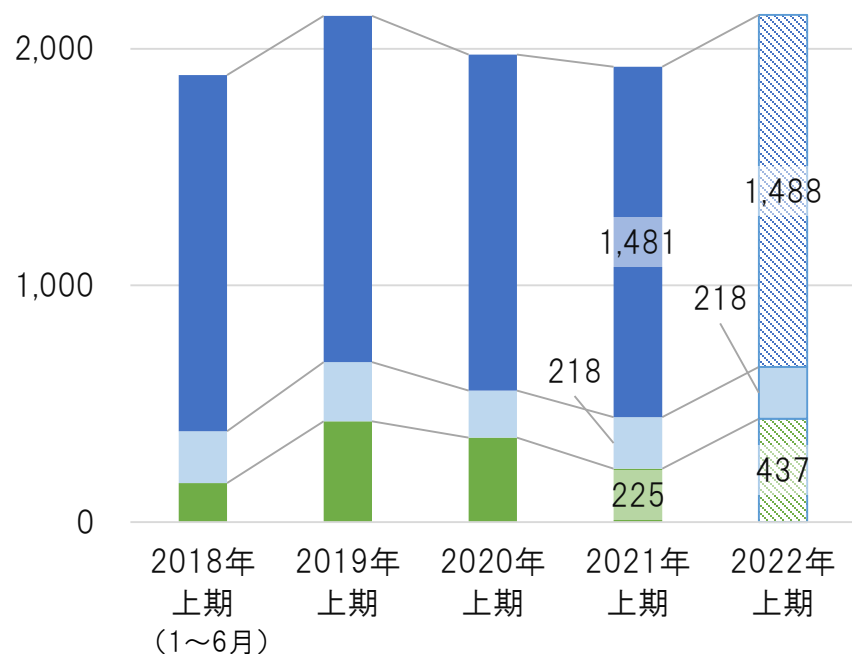
※ 収益認識に関する会計基準等の適用による影響:

従来の会計処理と比較し、売上高△18百万円、営業利益/経常利益△12百万円

事業セグメント別売上高の推移(仕向地別)

(百万円)

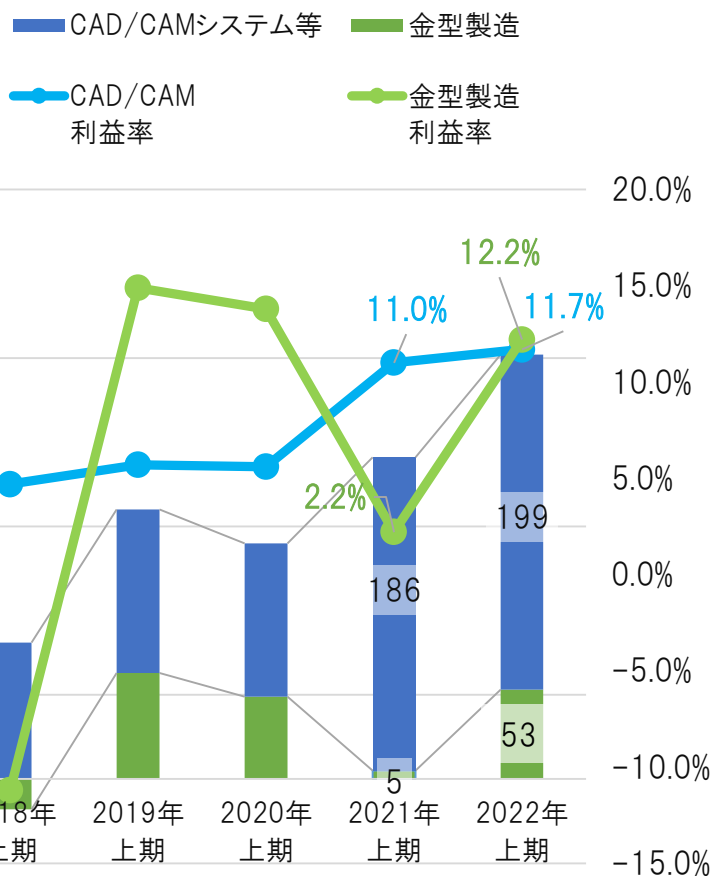
■国内 ■海外 ■金型製造



売上高 (百万円)	2021年 上期	2022年 上期	構成比	前年同期比	
				増減額	増減率
CAD/CAM	1,700	1,707	79.6%	+7	+0.4%
国内	1,481	1,488	69.4%	+6	+0.5%
海外	218	218	10.2%	+0	+0.1%
金型製造	225	437	20.4%	+212	+94.3%
合計	1,925	2,144	100.0%	+219	+11.4%

事業セグメント別利益の推移

(百万円)



科目 (百万円)	2021年 上期 【実績】	2022年 上期 【実績】	前年同期比	
			増減額	増減率
CAD/CAM				
売上高	1,700	1,707	+7	+0.4%
営業利益	186	199	+12	+6.7%
営業利益率	11.0%	11.7%		
金型製造				
売上高	225	437	+212	+94.3%
営業利益	5	53	+48	+953.7%
営業利益率	2.2%	12.2%		
合計				
売上高	1,925	2,144	+219	+11.4%
営業利益	191	252	+60	+31.6%
営業利益率	10.0%	11.8%		

※ 収益認識に関する会計基準等の適用による影響:

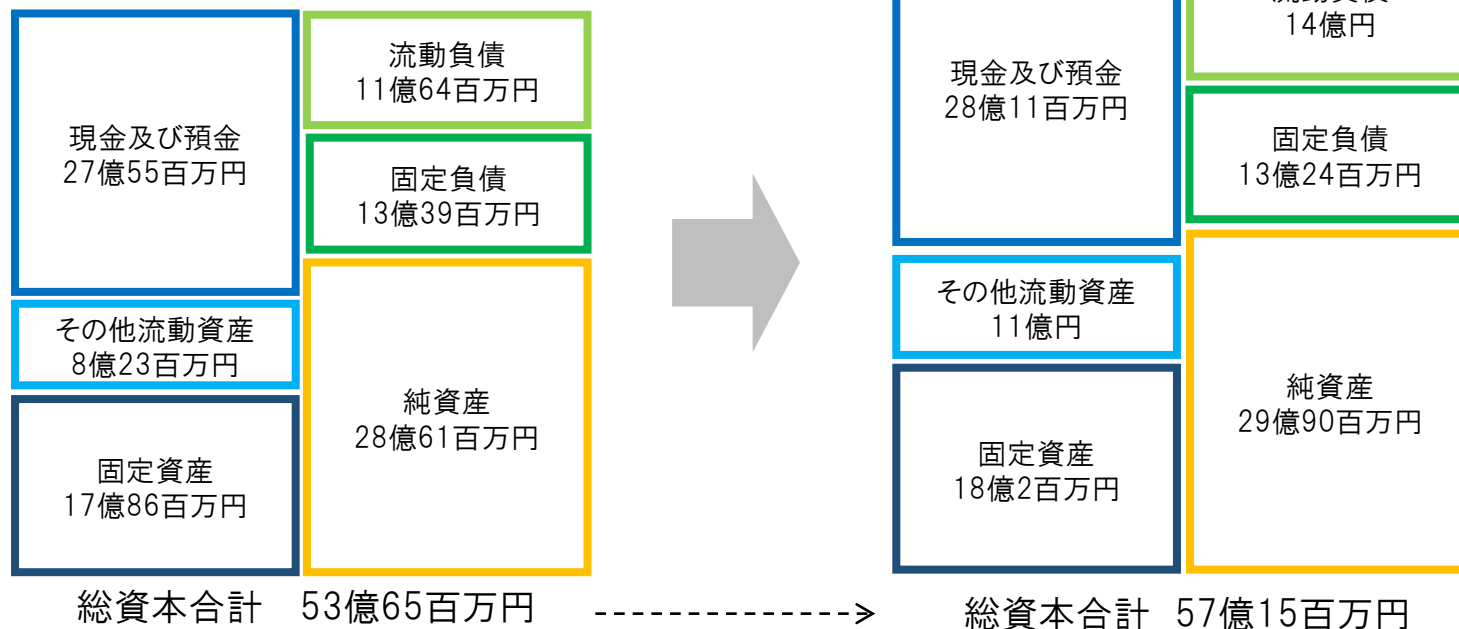
従来の会計処理と比較し、CAD/CAMシステム等事業の売上高△18百万円、セグメント利益△12百万円

財務状況

■ 自己資本比率51.2%

【2021年12月期 期末】 自己資本比率 52.2%

【2022年12月期 第2四半期】 自己資本比率 51.2%



主な要因

資産: +3億49百万円
 ⇒現金及び預金+56百万円、電子記録債権+1億1百万円、棚卸資産+84百万円

負債: +2億21百万円
 ⇒契約負債+1億84百万円、退職給付に係る負債+24百万円

キャッシュ・フロー計算書

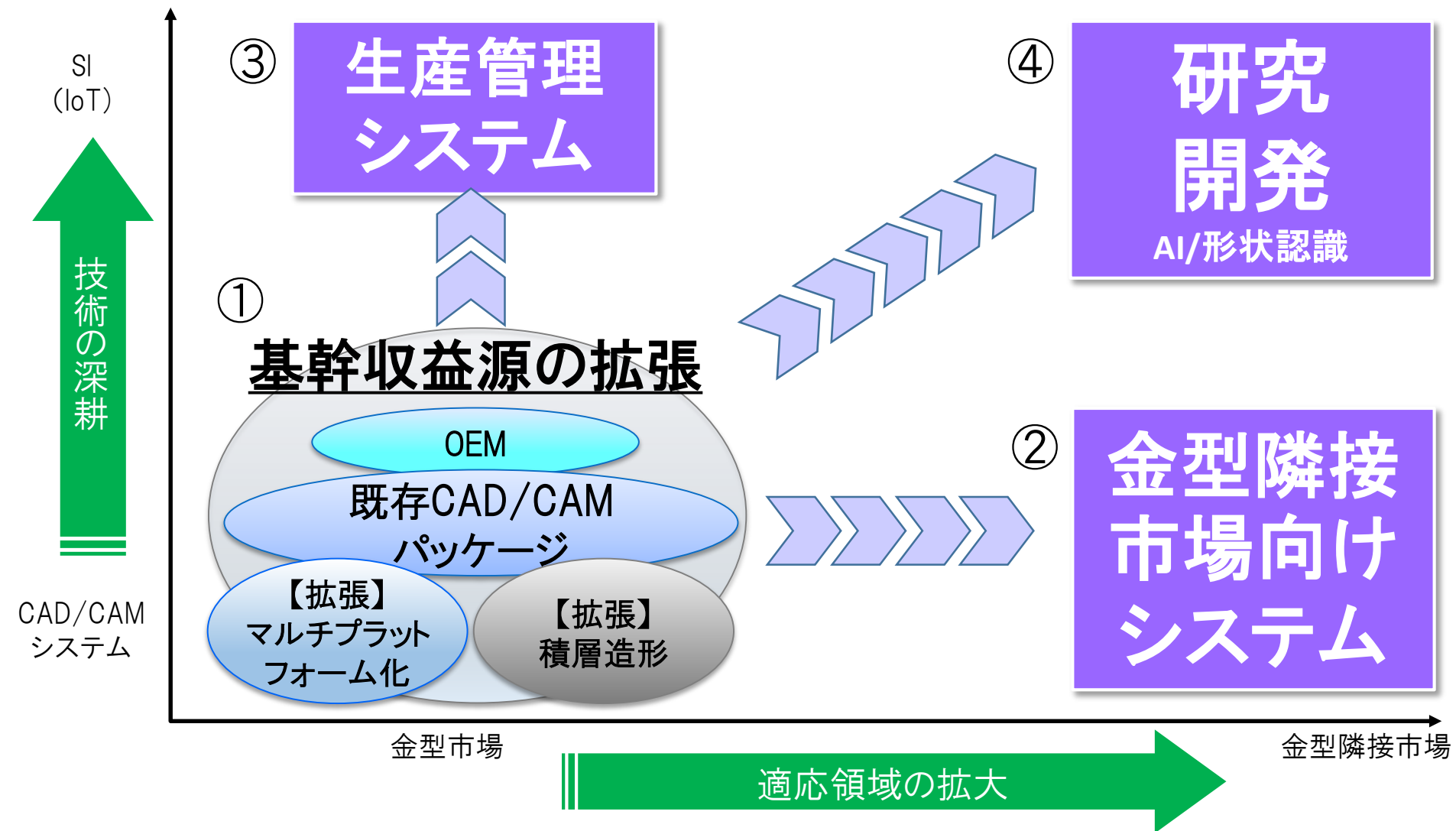
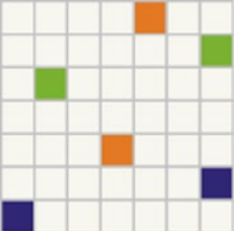
(単位:百万円)

	2021年 第2四半期	2022年 第2四半期	コメント
営業活動によるキャッシュ・フロー	193	149	- 税金等調整前当期純利益2億81百万円 :各事業の利益貢献 - その他の主な内訳: (増加)契約負債の増加1億57百万円 (減少)売上債権の増加1億26百万円 棚卸資産の増加76百万円
投資活動によるキャッシュ・フロー	△117	△187	(減少)定期預金の預入による支出2億71百万円
財務活動によるキャッシュ・フロー	△64	△128	(減少)配当金の支払額1億27百万円
現金及び現金同等物に係る換算差額	19	64	
現金及び現金同等物の増減額	30	△102	
現金及び現金同等物の期首残高	2,468	2,720	
現金及び現金同等物の四半期残高	2,498	2,617	
フリーキャッシュフロー	75	△38	

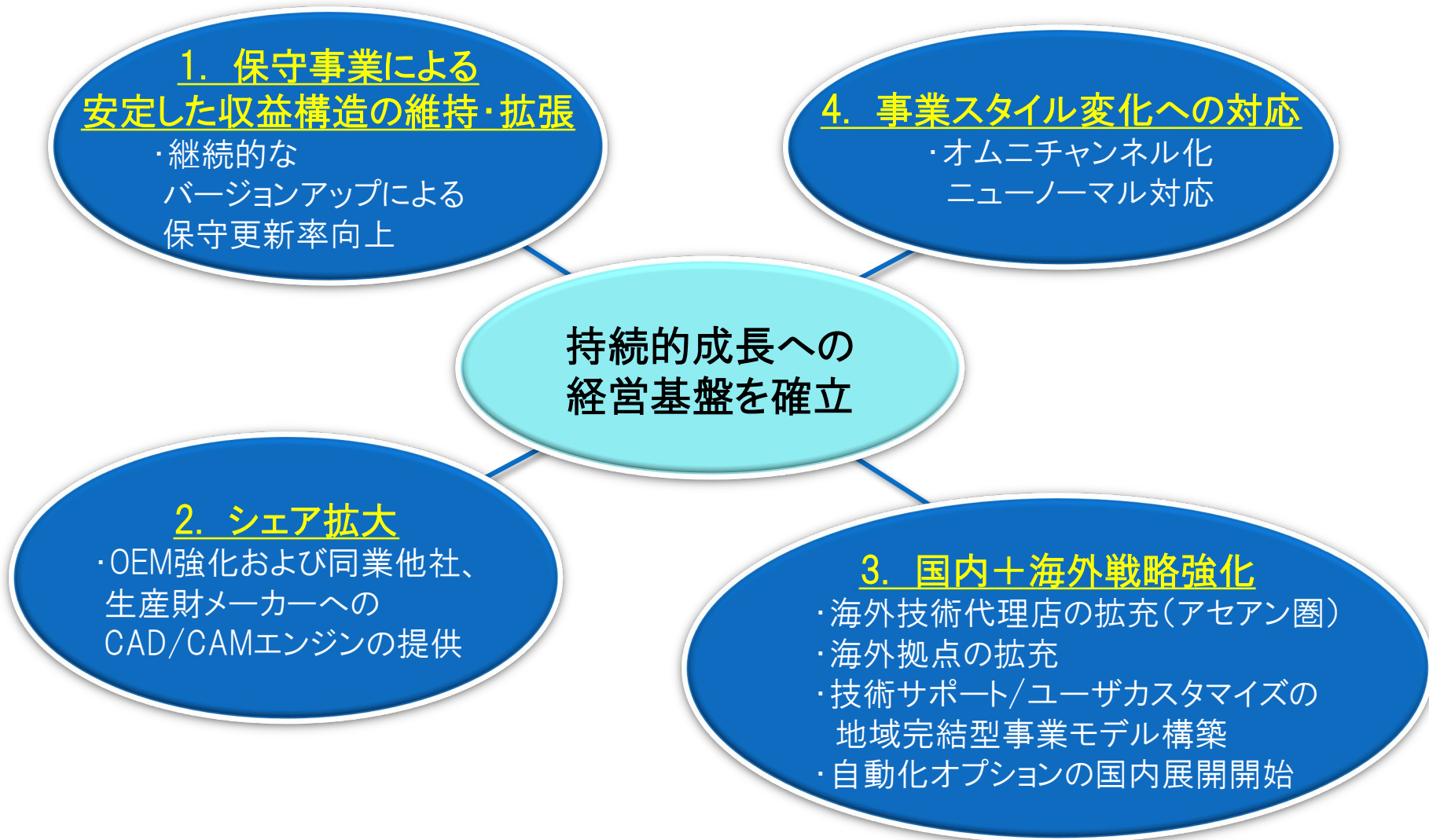
※フリーキャッシュフロー＝営業活動CF＋投資活動CF

3. 中長期事業方針

基本成長戦略の方向性



①基幹収益源の拡張 (1)基幹収益源の拡張

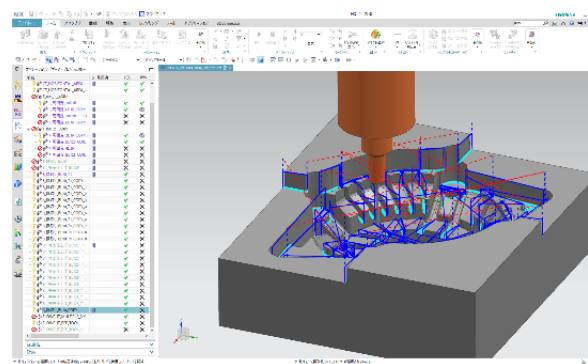
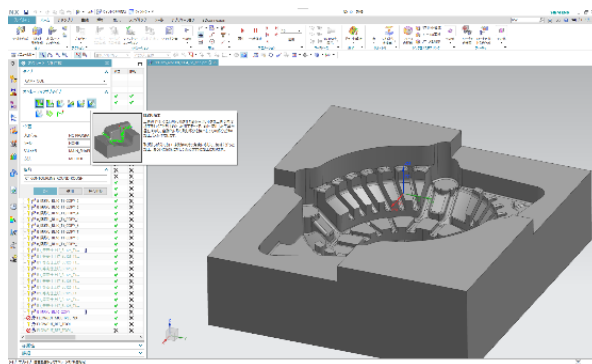


①基幹収益源の拡張 (2)CAMのマルチプラットフォーム化拡大

CAM-TOOL for NX

～米シーメンス デジタルインダストリーズソフトウェア社「NX」への当社「CAM-TOOL」の搭載～

- ❑ 自動車メーカー・サプライヤーの基幹CADとして活用されている「NX」
 - ・・・TIER1 部品メーカーも追随し利用拡大の動き
- ❑ 「NX CAM」の機能を「CAM-TOOL」で補完
 - ・・・製品設計から金型加工まで統合された最適なシステム環境を構築



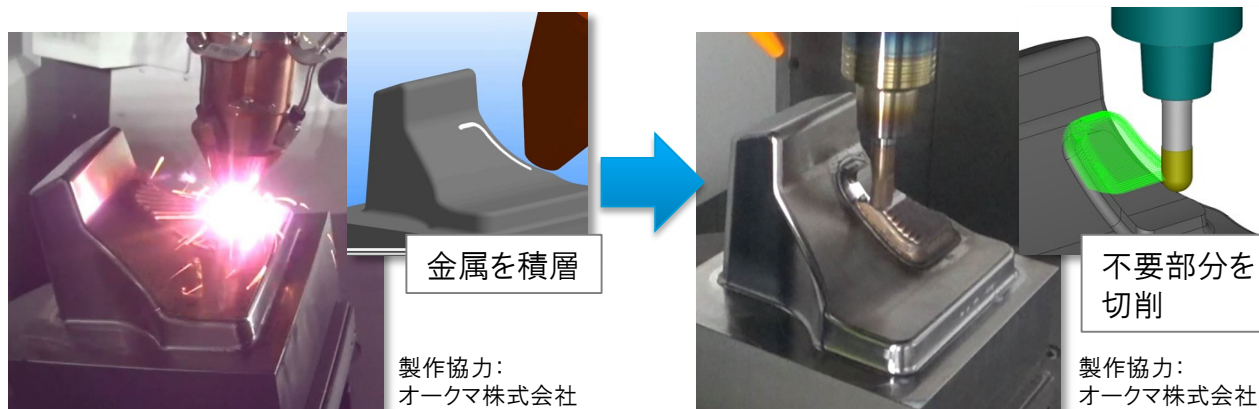
当社はSiemens Digital Industries Software Inc.のソフトウェア＆テクノロジー・パートナーです。
NXは米国およびその他の国におけるSiemens Digital Industries Software Inc.またはその子会社の商標または登録商標です。

①基幹収益源の拡張 (3)積層造形(金属/樹脂)

(※)AM=Additive Manufacturing: 付加製造

CAM-TOOL AM

～金属または樹脂AM(※)機能を搭載した同時5軸制御対応ハイブリッドCAMシステム～



積層造形（付加加工）と切削加工（除去加工）を1システムで実現
金型修理、複合部品加工などさまざまな用途で利用可能

積層と切削×同時5軸の
自由度の高い加工工程設計

2種類の造形方式:
国内工作機械メーカー4社の
AM複合加工機に対応

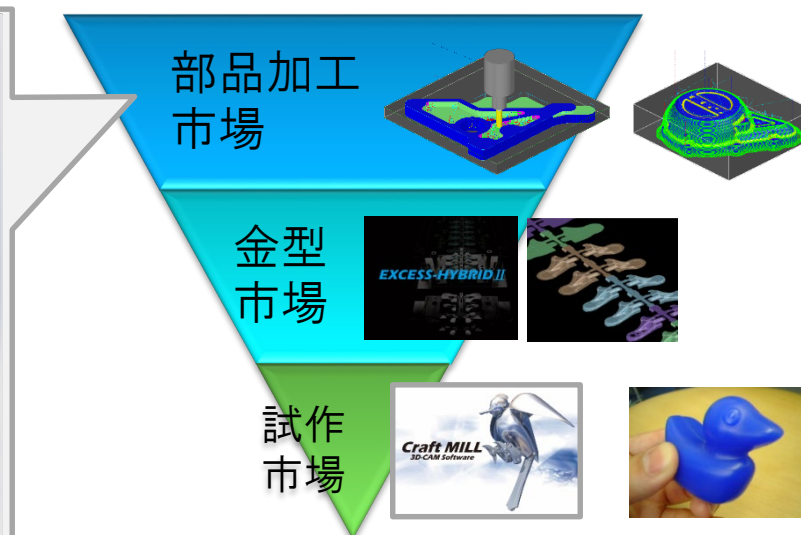
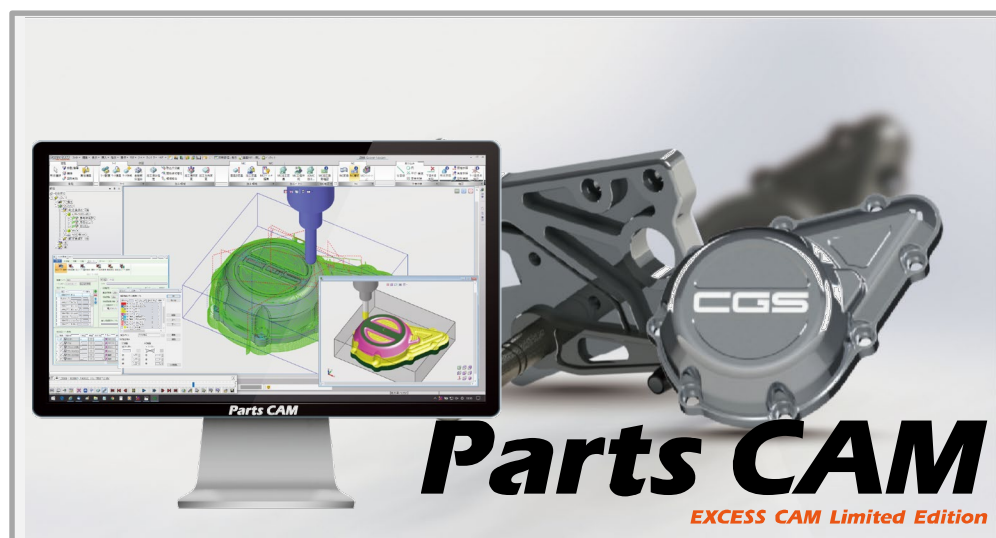
- CAM-TOOL AM(LMD)は、国立研究開発法人新エネルギー・産業開発機構(NEDO)より技術研究組合次世代3D積層造形技術総合開発機構(TRAFAM)が受託した技術開発事業の成果を、株式会社C&G システムズが活用し開発したものです。
- CAM-TOOL AM(LMD)は、株式会社金属積層造形サポートシステムが提供する造形レシピ、熱変形シミュレーションサービスとの連携も可能としています。

② CAD/CAM適応領域の拡大

部品加工市場向け製品「Parts CAM」の展開

- 金型加工で培った高精度なCAD/CAM資産を部品加工市場へ投入
・・・ CAD/CAM事業領域の拡大⇒**部品加工市場、量産市場など新規市場開拓**

※市場サイズイメージ



③技術の深耕（IoT分野への事業展開）

金型工程管理システム「AIQ(アイク)」の拡充

■ IoTを活用した工程管理の需要の高まりに対応した「金型工程管理システム」

さまざまな企業形態に応じた構成・カスタマイズが可能

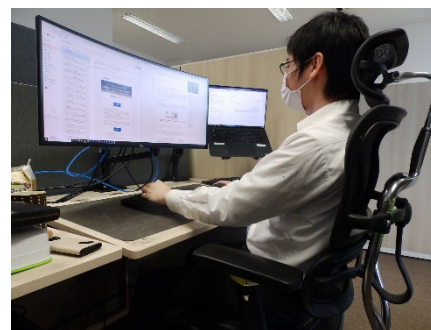


工場管理自動化の需要拡大は必至



金型・量産向け生産管理システムへ守備範囲を拡張
金型製造業以外にも市場を拡大

④研究開発の推進



(上)快適な開発環境を整備し最新技術の研究を推進

(左)北九州学研都市 技術開発交流センター

- ❑ 北九州学研都市内「技術開発交流センター」に研究開発部を設置
- ❑ 当社の事業領域に関連する研究および独自技術に関する基礎研究/応用研究を推進

「AI」「自動化」「形状認識」等をキーワードに
製造業すべてのユーザに貢献できる
「高付加価値商品」「高付加価値機能」の提供を目指す

トピックス：ベトナムに進出



ベトナム に進出

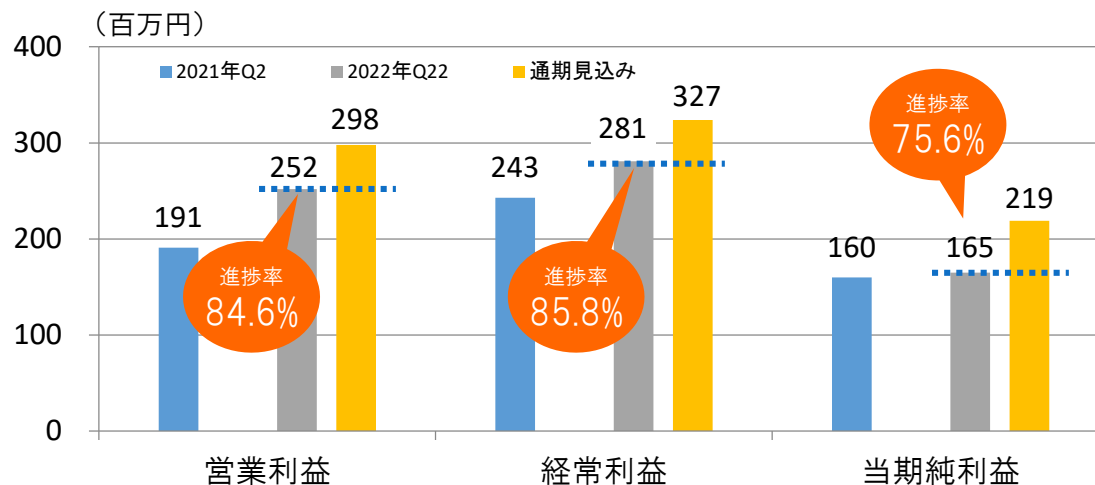
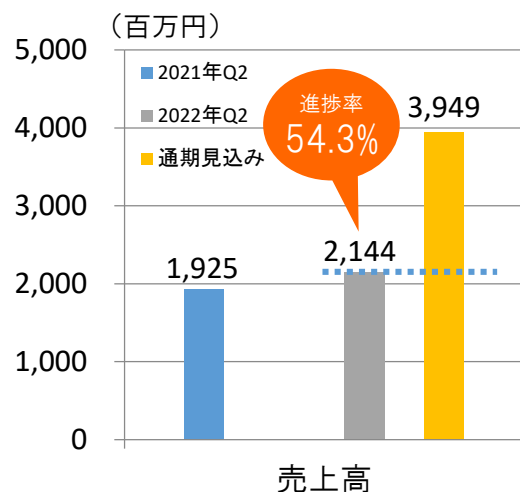
C & Gシステムズ
ベトナム駐在員事務所（ハノイ）
2023年1月 業務開始予定

4. 2022年12月期 通期業績見通し

2022年12月期 通期連結業績予想

通期連結業績予想は据え置き

(単位:百万円)	①2021年 上期	②2022年 上期	前年同期比	③2022年 通期見込み	予想に対する進捗率 (②÷③)
売上高	1,925	2,144	+219	3,949	54.3%
営業利益	191	252	+60	298	84.6%
経常利益	243	281	+38	327	85.8%
純利益	160	165	+5	219	75.6%



2022年12月期 連結セグメント別業績予想

科目(百万円)	2021年上期 【実績】	2022年上期 【実績】	前年同期比	2022年通期 【予想】	予想に対する 進捗率
CAD/CAMシステム等事業					
売上高	1,700	1,707	+7	3,445	49.6%
営業利益	186	199	+12	282	70.6%
営業利益率	11.0%	11.7%		8.2%	
金型製造事業					
売上高	225	437	+212	503	86.8%
営業利益	5	53	+48	15	333.6%
営業利益率	2.2%	12.2%		3.2%	
合計					
売上高	1,925	2,144	+219	3,949	54.3%
営業利益	191	252	+60	298	84.6%
営業利益率	10.0%	11.8%		7.6%	

CAD/CAMシステム等事業

- 2022年下期も堅調に推移する見込み
- 長期化するコロナの影響に加え、半導体不足および原材料高騰等の影響をユーザーが受けた結果設備投資意欲抑制の可能性あり

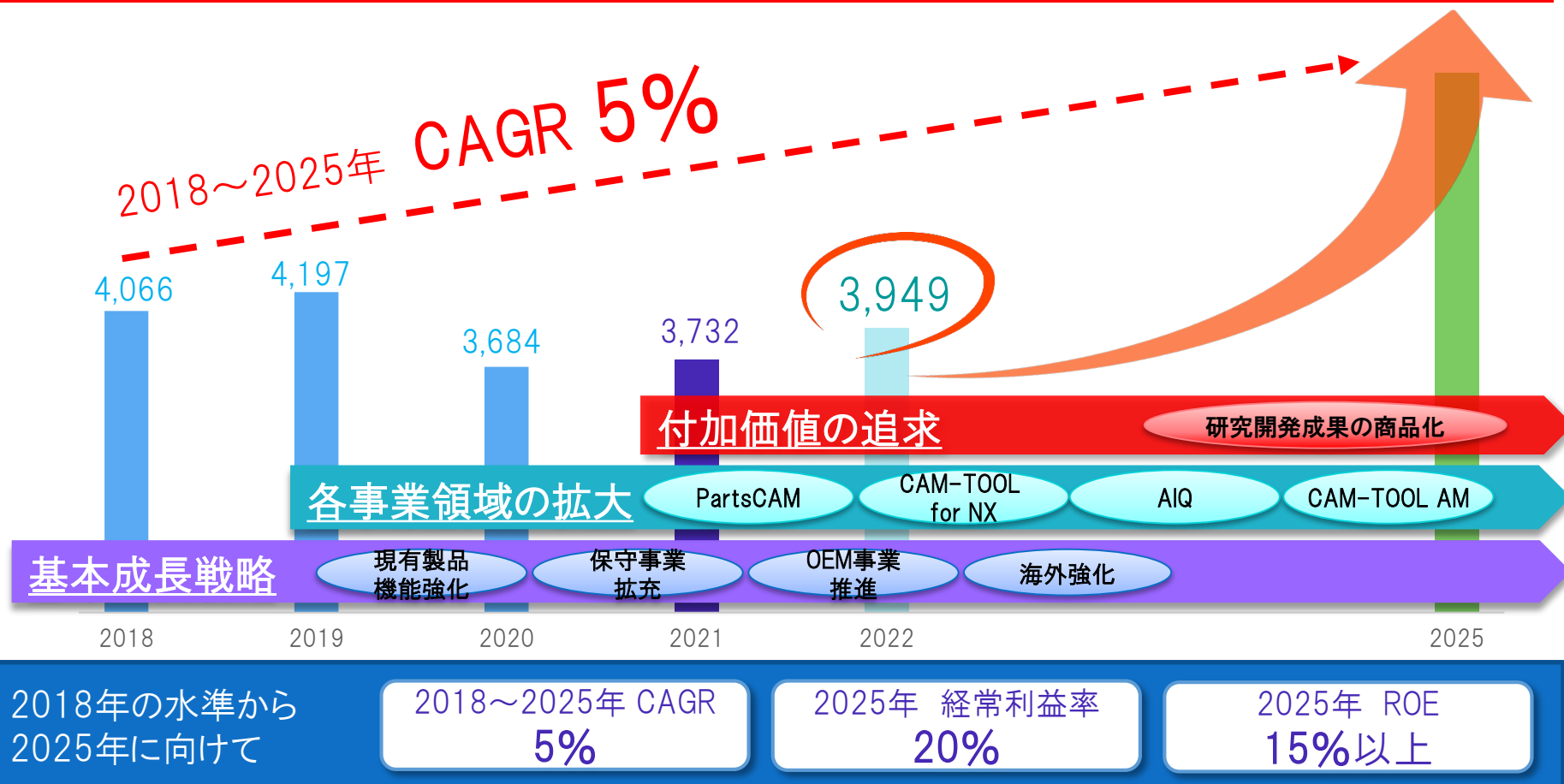
金型製造事業

- 半導体に関連しない部品の金型需要は堅調
- 原材料高騰、物流の混乱等による影響が懸念材料

今後の成長イメージ

【将来CGSが目指す姿】

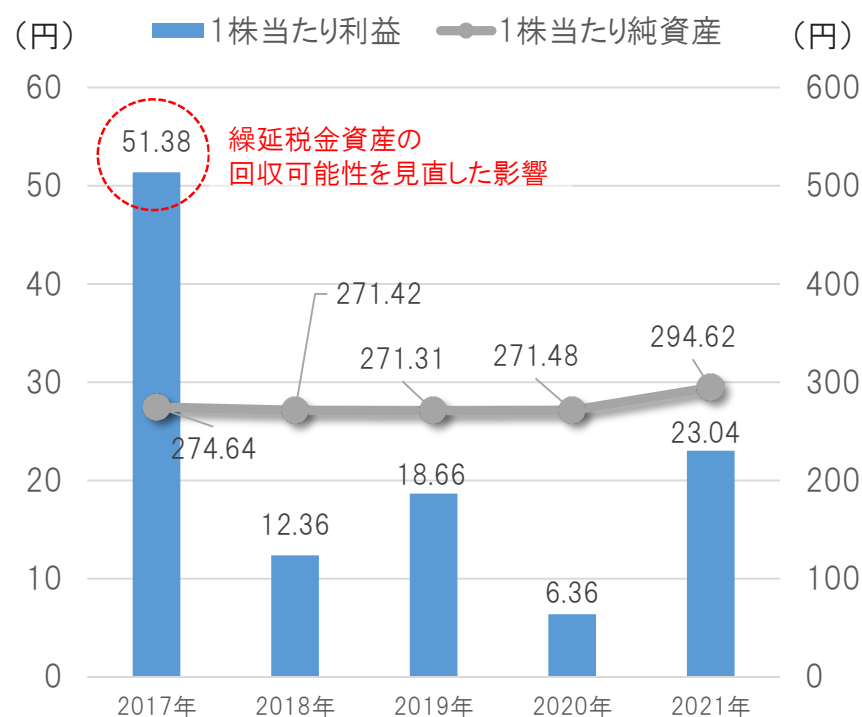
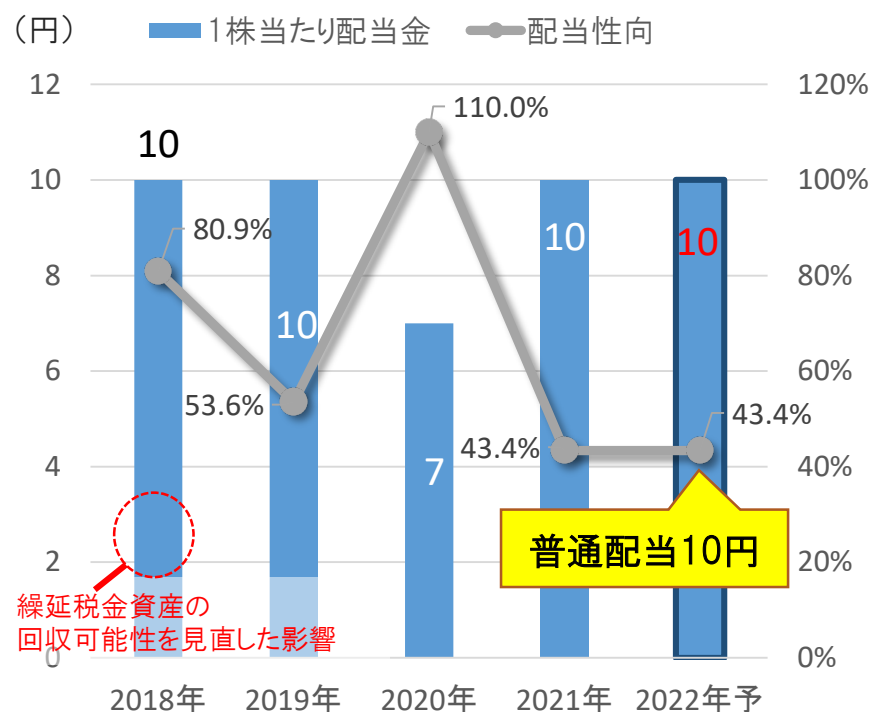
金型・部品製造現場の最適化を支援する総合ソフトメーカーへ事業拡大

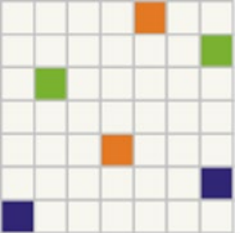


5. 株主還元について

配当について

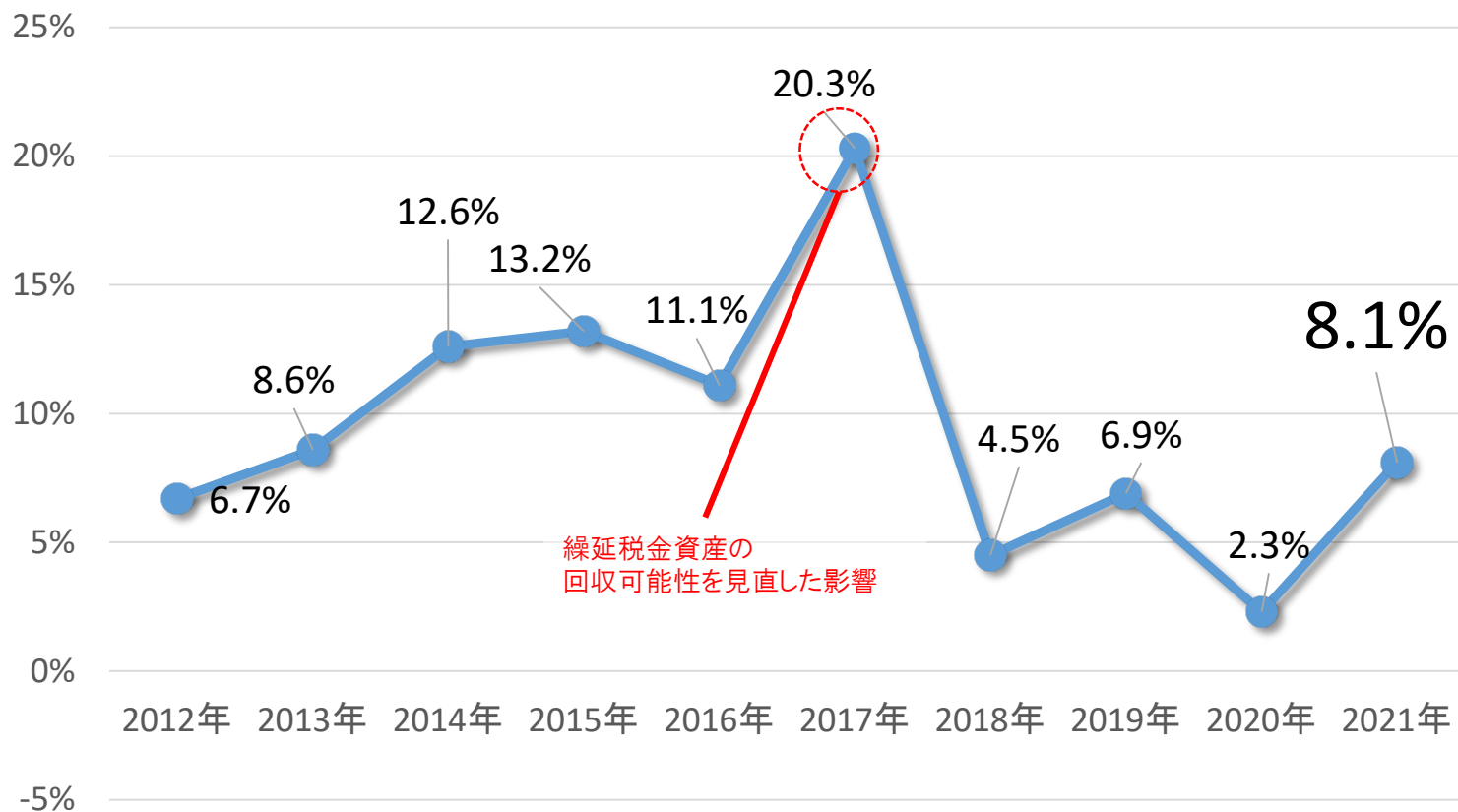
■ 業績連動による配当を継続的に実施すると同時に企業価値の最大化を目指す





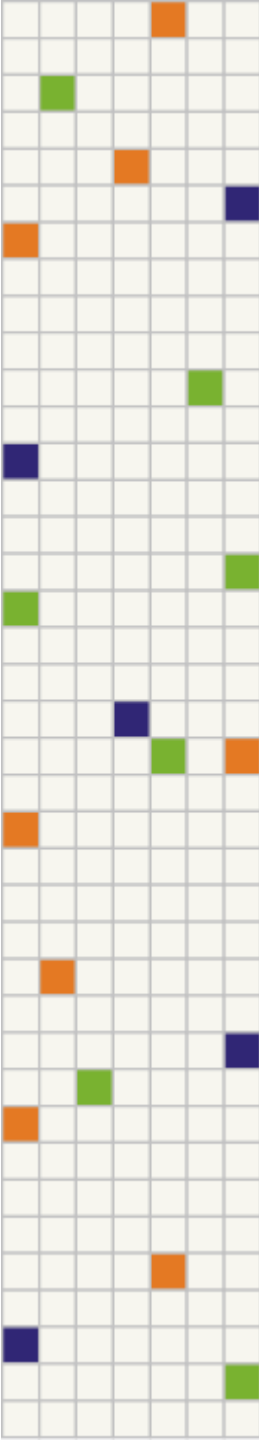
(ご参考)ROEの推移

- 収益性を高めることにより、ROEのさらなる向上を目指す



(ご参考) 専門用語集

用語	意味
AM-CAM	AM＝「Additive Manufacturing(積層造形法)」、いわゆる3Dプリンタなどの「付加加工」を実現するためのCAMシステム。 製品の加工法は、「付加加工」に加え、マシニングセンタなどの「除去加工」、金型などによる「成型加工」に大別される。
API	API＝「Application Programming Interface」。すでにある機能呼び出すための関数。従来のソフトウェア開発ではプログラムを一からコーディングしていたが、APIを利用してプログラムをすることによって容易にカスタマイズ等ができるようになる。
NCデータ	NC＝「Numerical Control」。マシニングセンタなど工作機械を動作させるための数値制御データのこと。
CAD/CAMシステム	CADとは、どんな製品を作るか、コンピュータ上で設計を支援するためのツール。また「金型用CAD」とは、製品設計データを元に、強度計算や冷却水の経路、高い精度と高度な品質が要求される金型の設計を支援するツール。 CAMとは、CADで作成されたデータを加工用の「NC[Numerical Control]データ」という数値データに変換し、工作機械に渡すためのツール。カッターパスの正確さ、効率性は、CAMソフトウェアの性能により、大きく異なる。 CAD/CAMとは上記の2種類の機能を持ち合わせたソフトウェアのこと。
研削盤	高速に回転する研削砥石を用いて、その砥石を構成する極めて硬い微細な砥粒によって加工物をわずかずつ削り取ってゆく精密仕上げ加工を行う工作機械。
サーフェイス／ソリッド	サーフェイスとは、3次元コンピュータグラフィックスの立体表現手法のひとつ。ワイヤーフレームに面データが加わったもの。中身が詰まっていない、風船、張り子のようなイメージ。 対してソリッドは、サーフェイスモデルに物質の表裏や材質、重さなどの実体情報が加わったもの。粘土細工のイメージ。
○軸	2軸半加工:2軸加工(平面的な輪郭加工や領域加工、穴あけ加工等)に、側面から見た形状の情報を付加する加工方法。 3軸加工:XYZ軸の3軸で同時に行う加工する方法。自由曲面を含む加工が可能となる。 5軸加工:XYZ軸に、回転軸を2つ加えて行う加工。3軸加工と比較し、連続した曲面のアンダーカット(そのままでは型が抜けない形状)を加工する場合や側面などの加工をする場合に有効。

A vertical decorative element on the left side of the page, consisting of a grid of small squares in various colors (blue, green, orange, and dark blue) arranged in a pattern that resembles a stylized 'C' or a series of connected dots.

本誌記載のデータは各種の情報源から入手したものです、
その正確性を保証するものではありません。
また業績予想、見通し等は、作成時点において
入手可能な情報に基づき作成したものであり、
実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

（お問合せ先）

株式会社C&Gシステムズ 管理部 IR担当

E-mail : cgs_ir@cgsys.co.jp